医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。

使用上の注意改訂のお知らせ

No. 23-5

抗精神病剤

ブロナンセリン錠2mg「タカタ」
ブロナンセリン錠4mg「タカタ」
ブロナンセリン錠8mg「タカタ」

ブロナンセリン錠

劇薬・処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

2023 年 2 月

製造販売 高田製薬株式会社

このたび、標記製品の**【使用上の注意】**の項を改訂いたしましたので、ご案内申し上げます。
今後の本剤のご使用に際しましては、以下の内容にご留意下さいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容

改訂後（〰〰波線は改訂箇所）	改訂前（------破線は削除部分）
【禁忌（次の患者には投与しないこと）】 1.～3.　省略 4.　イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール、リトナビルを含む製剤、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル、エンシトレルビル、コビシスタットを含む製剤を投与中の患者（「3. **相互作用**」の項参照） 5.　省略	**【禁忌（次の患者には投与しないこと）】** 1.～3.　省略 4.　アゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）、フルコナゾール、ホスフルコナゾール、ポサコナゾール）、HIV プロテアーゼ阻害剤（リトナビル、ロピナビル・リトナビル配合剤、ネルフィナビル、ダルナビル、アタザナビル、ホスアンプレナビル）、コビシスタットを含む製剤を投与中の患者（「3. **相互作用**」の項参照） 5.　省略

<table>
<tr><th>改訂後（〰〰波線は改訂箇所）</th><th>改訂前（------破線は削除部分）</th></tr>
<tr><td>

【使用上の注意】

3. 相互作用

(1) 併用禁忌（併用しないこと）

<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td colspan="3">省略</td></tr>
<tr><td>CYP3A4を強く阻害する薬剤
イトラコナゾール
イトリゾール
ボリコナゾール
ブイフェンド
ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）
フロリード、
オラビ
フルコナゾール
ジフルカン
ホスフルコナゾール
プロジフ
ポサコナゾール
ノクサフィル
リトナビルを含む製剤
ノービア、
カレトラ、
パキロビッド
ダルナビル
プリジスタ
アタザナビル
レイアタッツ
ホスアンプレナビル
レクシヴァ
エンシトレルビル
ゾコーバ
コビシスタットを含む製剤
省略</td><td>省略</td><td>省略</td></tr>
</table>

</td><td>

【使用上の注意】

3. 相互作用

(1) 併用禁忌（併用しないこと）

<table>
<tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr>
<tr><td colspan="3">省略</td></tr>
<tr><td>CYP3A4を強く阻害する薬剤
アゾール系抗真菌剤
イトラコナゾール
イトリゾール
ボリコナゾール
ブイフェンド
ミコナゾール（経口剤、口腔用剤、注射剤）
フロリード、
オラビ
フルコナゾール
ジフルカン
ホスフルコナゾール
プロジフ
ポサコナゾール
ノクサフィル
HIVプロテアーゼ阻害剤
リトナビル
ノービア
ロピナビル・リトナビル配合剤
カレトラ
ネルフィナビル
ビラセプト
ダルナビル
プリジスタ
アタザナビル
レイアタッツ
ホスアンプレナビル
レクシヴァ
コビシスタットを含む製剤
省略</td><td>省略</td><td>省略</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

2. 改訂理由

自主改訂

●「禁忌」「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項の「リトナビル」を「リトナビルを含む製剤」へ変更し、「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項へ、「パキロビッド」を追記

●「禁忌」「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項へ「エンシトレルビル」、「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項へ「ゾコーバ」を追記

相互作用相手薬記載との整合をとるため、上記薬剤を記載いたしました。

●「禁忌」「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項から「アゾール系抗真菌剤」、「HIV プロテアーゼ阻害剤」、「ロピナビル・リトナビル配合剤」を削除

記載整備いたしました。

●「禁忌」「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項から「ネルフィナビル」、「3. 相互作用(1)併用禁忌」の項から「ビラセプト」を削除

国内において既に販売中止されているため、上記薬剤の記載を削除いたしました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の医薬品安全対策情報（DSU）No.315 に掲載される予定です。

改訂後の電子化された添付文書（電子添文）全文につきましては、「独立行政法人医薬品医療機器総合機構ホームページ」（https://www.pmda.go.jp/）並びに弊社ホームページ（https://www.takata-seiyaku.co.jp/）でご参照いただけます。

また専用アプリ「添文ナビ®」より GS1 バーコードを読み取る事でも、最新の電子添文等をご参照いただけます。

＜GS1 コード＞
ブロナンセリン錠「タカタ」

(01)14987120100403

＜お問い合わせ先＞　高田製薬株式会社　くすり相談室　電話：0120-989-813